

「ピカチュウ大発生(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

夏の夜といえば、昔も今も「花火」である。私が子どもの頃、花火といえば、石坂さん(駄玩具屋さん)で、好みのものを1本ずつ選んで、合計額をおじさんに払って買った。祖母からもらった「お足」百円で、いかにうまく組み合わせて「ドラマのある花火大会」にするか・・・それで暗算能力も磨いたものである。



今はセーブオン、コメリ、ベイシアなどでセットを買うのが主流で、「えらぶ」楽しさはなくなってしまった。嬉しいことは、そういうセットの中に、面白いメガネがおまけでついているものがあることだ。



たとえば、こんなものである。このメガネで花火の火花を見ると、全部ピカチュウに見える!という素敵なおまけである。私はまず花火ではなく、普通の光源で試してみた。

このメガネでピカチュウを見るコツは、真っ暗な中にある「点光源」を狙うことだ。花火の火花はまさにその条件に合っている。花火以外では、暗い部屋の発光ダイオードなどが良い。蛍光灯のように、面積のある光源は効果が現れない。そこで私はまず、メガネを通して、緑色の発光ダイオード(プリンターの電源ランプ)を撮影してみた。ピント合わせが意外に難しい・・・おっ!確かにピカチュウが見える!!



次に夜間に、遠くの街灯を撮影してみた。おっ!これは美しい!しかもかなりリアルなピカチュウである。ポケモンGOでゲットした気分だった。

